

レジメン名

Pembrolizumab(q3w)

出典 キイトルーダ適正使用ガイド2023年12月作成

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

対象疾患

がん化学療法後に増悪したTMB-Highを有する進行・再発の固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)
■進行・再発
□補助療法(術前・術後)
□
□

投与減量の基準

infusion reaction Grade2:直ちに中止し、1時間以内に回復する場合には投与速度を50%に減速して再開

投与中止の基準

Table with 4 columns: AST, T-bil, ALT, Cr. Values: 120IU/L以上, 1.8mg/dL以上, 120IU/L以上, 1.6mg/dL以上. Other: Grade2以上の肺炎・大腸炎・下垂体炎、Grade3以上の高血糖・甲状腺機能障害・心筋炎・脳炎・ギランバレー症候群、症候性の内分泌障害(甲状腺機能低下症を除く)、1型糖尿病、Grade3以上または再発性のGrade2のinfusion reaction、Grade4または再発性のGrade3の副作用、副作用の処置として副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合、12週間を超える休業後もGrade1以下まで回復しない場合

1クール期間 21日 (次のクールまでの標準期間)

総クール数 PDまで

Table with 5 columns: 薬剤名・略号, 1日投与量, 投与方法, 投与速度(時間), 投与日(d1, d8等). Row 1: ペムブロリズマブ(キイトルーダ), 200mg, 輸液100mL, 30分, day1.

Table with 1 column: 1日投与順 (経時的にプレメイクーション・ポストメイクーション、溶解液まで含む). Content: day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②キイトルーダ200mg+輸液100mL(30分) ※インラインフィルター(0.2~5µm)を使用し投与。 ③生食50mL(フラッシュ用)